



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Tomoko Kuwano 4-16-23-401 Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe
 Mail : kuwano-t@nifty.com Tel. : 078-431-8418 〒658-0016 Japan
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Moon Sang Bong (韓国)
 'Yes, we can change.' 'Courage to challenges'
 アジア太平洋地域会長 田中博之(東京多摩みなみ)
 'Action' 'With Pride and Pleasure'
 西日本区理事 遠藤通寛(大阪泉北クラブ)
 'Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed
 on to the Future.' 「未来に残すべきものを守り育てる」
 六甲部部长 大田厚三郎(神戸西クラブ)
 「六甲部は、一つの体。
 共に助け合い、部全体の発展向上を図ろう」
 芦屋クラブ会長 桑野友子
 「メンバー一人々々の満足度を上げよう」

今月の聖句

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。
 ルカ福音書 2章 11節

12月クリスマス祝会

と き: 2018年12月23日(日) 18:00~21:00
 ところ: ホテル竹園芦屋3F.
 総合司会: 柏原佳子ウイズ・福原吉孝ウイズ

開会点鐘	桑野友子会長
クラブソング	一同
第1部 礼拝の部	島田 恒
祈禱・奨励	権 甲植ウイズ
第2部 祝宴の部	
祝辞	中道基夫YMCA理事長
食前感謝	大田厚三郎六甲部部长
乾杯挨拶	大野 勉(西日本区直前理事)
食事歓談	
エンタテイメント	ウクレレ・スイング・トリオ
ゲスト・クラブ紹介	総合司会
アピールタイム	
オークション	篠坂・福原・三島(各ウイズ)
フィナーレ	
YMCAへの献金贈呈	会長からYMCAへ
閉会挨拶	島田 恒次期会長
閉会点鐘	桑野友子会長

会 長 桑野友子
 直前会長 柏原佳子
 副 会 長
 書 記 菅原 進
 会 計 羽太英樹
 監 事 五十嵐政二
 連絡主事 三島浩司
 六甲部EMC主査 柏原佳子

12
 Dec., 2018
 258号

EMC主査として

柏原佳子
 スタートした今期も早、11月の最後の日、何かと忙しい12月に突入しようとしています。六甲部は、7月には神戸西クラブ2名、9月宝塚クラブ3名、10月神戸クラブ3名をメンバーにお迎えし、来年1月には、芦屋クラブにも1名の入会者が予定されています。
 今期のEMC主査として西日本区EMC事業主任のご期待に添い、まず各クラブの例会出席状況リスト作成から始めました。軽くクリアーのはずでしたが、意外にもスムーズに運ばず、第1回EMC事業委員会を持たせていただきました。
 少し根気がいりましたが、メールを重ねる中でゲーム感覚のように楽しく進んで参りました。少々、難航されたクラブが、11月には集計を1番早く送っていただき嬉しかったです。当初は、11月中に次期へのステップも念頭に「EMC座談会」を開く予定でしたが、諸事情が発生し、希望は残念ながら叶いませんでした。
 この半年に経験したことは、無駄にはしたくないと思います。傷つけない、恥をかかさない、根気よく丁寧に対応する。結果、優しい風となって自身にかえって参ります。入会のきっかけ作り、お誘いし、お仲間が増えました。お仲間になった後のフォローはどうでしょう？
 手を揚げて入会を宣誓されたことをお互いに真摯に受け止め、得手を活かしあい、居場所を作ることがEMCには大切かと考えます。

11月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計 gm
メンバー	13名	出席者	13名	
ビジター	2名	メイクアップ	1名	
ゲスト	3名	合 計	14名	
メネット	1名	在籍者	16名	
コメント	名	(内広義会員2名)		
合 計	19名	出席率	100%	
				ニコニコ 11月 12,000円 累計 79,667円

11月第1例会報告

日時： 11月21日(水)18:00~21:00
 場所： ホテル竹園 (敬称略)
 出席者： 五十嵐政二、上野恭男、大岩雅典、柏原佳子、桑野友子、篠坂幸彦、島田恒、菅原進、堤清、中山豊美、羽太英樹、坂東幸子、福原吉孝、三島浩司連絡主事、五十嵐かほるメネット
 スピーカー： 大田厚三郎、河内リーダー、阪田晃一余島所長
 ゲスト： 浜瀬真知子(YMCA職員)、
 ビジター： 杉本隆人(神戸学園都市クラブ)

定刻 18 時に会が始まりました。クラブソング斉唱、羽太ワイズの聖句朗読、解説があり、いつも通りの楽しい会食懇談の時間となりました。頂いたお料理はメインディッシュが大きなハンバーグで大満足でした。

さて、スピーカーの 1 番手、全国YMCAリーダー会研修報告を西宮リーダー会の河内リーダーからプロジェクターを使用しての報告です。芦屋クラブからも支援金を出しており、しっかりとした報告をしていただきました。

次は今日のメインスピーカー大田厚三郎六甲部部長の「更生保護…保護司の役割」のお話を頂きました。

パンフに記載されていることを丁寧に説明され理解できました。



5 万人ほどの保護司は、無報酬で 75 歳の定年まで、刑期を終え出所した受刑者を見守ってきているのです。本当にご苦労様です。大田部長には講演料もボランティアしていただき感謝です。



最後のお話阪田晃一余島所長です。ONE CAMPを分かり易く解説し、10分という短い時間でしたが、中身のあるYMCA余島でのキャンプは興味深く聞き手に伝えられたのではないのでしょうか。続いて、第 2 例会の議事録承認があり、事業報告では瀬戸山陰部の併合の説明会が 26 日にあることが報告されました。誕生日祝いは五十嵐メネット、



福原メネット(福原ワイズが代わり)でした。定刻に桑野会長の閉会点鐘がありお開きになりました。
 上野恭男



花と緑とetc.



■9月に蒔いて無事に発芽しポット上げをしたパンジーがお陰様で先日チラホラと開花した。今年は気温がそれほど下がらず発芽から順調に成長し開花に至ったと思われる。最初に咲いた色鮮やかな花びらをじっと見つめ自然の成長力に感動し。後 14 日もすれば全部開花し植付けに入り晴れてご披露となる。「種からここまでよく頑張ったね。誕生おめでとう！パンジー君」

■私にとっては珍しい観葉植物の一種を紹介をたく。それはKワイズ宅から確か4年前に我が家に株分けして戴いた【サンスベリア・パーデシティ】と言う観葉植物である。これは従来のよく目にする【一般的なサンスベリア】とは違い写真の如く直径 2~3 cmの棒状の葉で先に向かって伸び、先は鋭利に尖っていて背高は約 1m 余りで、ほぼ直線的に成長して行く別の仲間である。【一般的なサンスベリア】は棒状ではなく 5~6 cm幅の肉厚の葉状に成長し濃緑に黄色のトラ柄(別名トラノオ)が普通である。室内のロビー・受付等でよくみられる。戴いた時は株分けされた 60 cm位に成長した一本のサンスベリアだったが現在はご覧の様に子供が次々と…。Kワイズ宅のサンスベリアからみれば【孫、曾孫】にあたる。室内の窓側で1年中我が儘言わず元気に育っています。鉢が狭くなり来春には植えかえの予定。良ければ株分けの際に何方か貰って頂ければ彼も喜んでくれるのでは……。



篠坂幸彦

拝啓 深秋の候ともなり美しい紅葉が見られるようになりました
 この度大阪クラブ九十周年記念例会にご多忙の中お越し願
 心より御礼申し上げます
 この記念例会を通して九十周年の歴史を積み重ねてこられました
 先人の熱い思いを皆様にお伝え出来れば大変喜ばしいことで
 日本最初のクラブであり会員数も減少してはいますが、会員一同
 百周年に向け一層励みますので何卒ご支援、ご指導の程宜しく
 お願いいたします
 ご参加して頂きました会員の方に宜しくお伝えください
 平成三十年十一月吉日
 敬具
 ご参加された方 柏原佳子 上野恭男
 大阪クラブ会長 脇本 清
 実行委員長 清水 汎博
 桑野の三名で参加、左記礼状が桑野宛に届きました。

大阪クラブ九十周年の記念祝会に上野ワイズ・柏原ワイズ

One Camp 誕生秘話

この度は One Camp にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。大変多くの方々と第 1 回目の One Camp を開催することができました。ここに報告を兼ねて One Camp 誕生秘話をお話したいと思います。

One Camp を語るにはまず「I'm a Partner」に触れなければなりません。その誕生は運命的なものでした。芦屋ワイズと One Camp を繋げてくださった中山豊美さんは、ご自身が余島キャンパーです。今井キャンプディレクターから得た力が、今も中山さんを突き動かしています。余島センター開設時に募ったオーブクラブの会員でもあり、今でも毎年余島に来られ、余島をゆったりと楽しみ、いつも私たちを励ましてくれます。それまでも余島に寄付などで貢献してくださっていた中山さんは、2012 年に「Ladies & Gentlemen よしましよ」を立ち上げます。ご自身の怪我による入院生活でひらめいた、余島応援プロジェクトでした。

同じ頃私はキャンプ参加機会の拡大を目指して、考えを巡らせていました。2010 年に訪れたフロストバレーYMCA では、難病の子どもたちが普通にキャンプに参加していたり、ガン患者のための週末キャンプが実施されていたりと、参加者の多様性に驚きました。日本ではキャンプに興味があって自分で参加費を負担できる人が参加するのが普通です。しかし



それだけでは社会のためになっていないのではないかと。今、日本でキャンプを本当に必要としているのは誰なんだろうかと考えるようになりました。「参加費を負担できない方々にもキャンプに参加してもらいたい」そのための寄付を募り助成する仕組みが I'm a Partner でした。

「福島の子どもたちに余島の自然を！」よしましよと協力して招待キャンプがスタートしました。コープこうべ・兵庫県ユニセフ協会・神戸 YMCA が共催する「福島の子供保養

プロジェクト」とも連携し、これまで 500 名を超える小学生を余島に招待することができました。またさらに中高生リーダーを招聘し、指導者としてのキャンプ参加機会を拡大しました。

この I'm a Partner の出現は、保守的だった YMCA に新たな風を吹き込みました。その自由な気風に、寄付者や支援者、企業、ボランティアの学生など本当に多様な人々が関わるようになりました。2015 年の秋、さらに歴史を遡り「1953 年余島肢体不自由児キャンプから学ぶ人間の尊厳とは何か」をはんしん自立の家で開催しました。参加者であった片岡さん、リーダーであった京極さんと勝部さんが当時の様子を語ってくれました。まだ障害者に人権がなかった時代に、一人ひとりを尊厳のある人間として扱うキャンプに、多くの人々が救われたのでした。



こうして One Camp 誕生の土台は整いました。「現代に本当に必要なキャンプは何か？」その問いに私たちはこう答えようと思ったのです。「いろんな人々が一緒に過ごす。多様性を認め、

それを受容する社会を実現するためにキャンプを作ろう」こうして実行委員会が動き出しました。

第 1 回目の One Camp には、40 名の様々な背景を持つ方々が参加してくれました。「私たちはもともと一つ」キャンプのコンセプトである「1+1=1」に込められた思いです。私たちがキャンプを通してこの感覚を若い世代に広めることができたら、差別や争いはもっと少なくなるのではないかと思います。

皆さまのご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

One Camp 誕生の生みの親として、今後もさらなるご支援をお願いいたします。感謝に代えて。

神戸YMCA余島野外活動センター所長 阪田晃一

第 25 回キリスト教講座「ダニエル書」と「ホセア書」

【ダニエル書】は二つの物語で構成されています。最初の6章はバビロニア捕囚として連行されてきたダニエルとその友人たちの物語です。捕囚時代の外国の宮廷を舞台として、そこに仕えるダニエル達若者が、難題や迫害に打ち勝って神様への信仰を守り、成功を収める物語が語られています。後半の7章～12章はダニエルが見た幻が幾つか書かれています。バビロニアからの大帝の交替の歴史を象徴的に表現し、ユダヤ人の信仰に対する激しい迫害、しかしそれに対してそれらの幻は神様が歴史を支配していることを示し、迫害の時にも神様に忠実なものに対して希望と究極的な救いを語っています。

ダニエル書の形式やイメージは新約聖書のヨハネの黙示録などに多くの影響を与え、重要な箇所ではしばしば引用されています。もう一つの特徴は本書の半分がアラム語で書かれ、残り半分はヘブライ語で書かれています。

【ホセア書】「ホセア」とは、「神様、お許してください」の意味です。彼は北イスラエルで預言者として活動したが、アッシリア帝国の侵略によって、南のユダ王国に逃れます。

【ホセア書】は二つの部分で形成されています。最初の部分はセアの妻ゴメル(カナン人の神バルに仕えていた?)の不倫による結婚生活の破綻を経験、生まれた子供に象徴的な名を付け、北王国の滅亡を予告、併せてバル神に寄り添うイスラエルの宗教を批判しました。しかし後にその妻子を神様の命によって受け入れ、愛による許しと言う神様と人との新たな関係性を表します。もう一つでホセアはイスラエルの人たちと、その指導者に対して神様の怒りの理由とその裁きを語り、しかも神様がすべてのイスラエルの人たちを許して下さる約束を伝えています。特に6章6節「私が喜ぶのは愛であって生贄ではなく、神を知る事である」はホセアをよく表した言葉で、後のイエス様も良く引用された所です。

権 甲植 (続く)

2018年11月第2例会議事録(抄)

日時: 11月28日(水)18:00~(プリン編集会議 18:00~)
場所: 芦屋市民センター204号室 (敬称略)
出席者: 上野・大岩・柏原・桑野・島田・篠坂・羽太・福原・菅原(各ワイズ) (9名)

議事・報告

◇第1例会

・1月例会 1月16日(水)
宝塚クラブ鯖尻佳子ワイズによる生け花実演とお話し
入会式予定: 浜瀬 真知子様

・2月 事務例会(次期役員決定)

・3月以降未定 余島リーダーの報告(案)

★1月六甲部合同新年例会 有志のみ参加

◇10月度収支報告 羽太英樹会計 承認

◇12月23日(日・祝)クリスマス祝会 (チラシ作成済み)

・実行委員会(第2例会)を12月18日(火)17:00~
ホテル竹園にて開催、プログラムの最終確認、オークション
物品の確認と整理

・会費: 大人 6000円 コメント 3000円

・宴会部門: 祝辞・食前感謝・乾杯を依頼

・エンタテイナー: ウクレレ・スイング・トリオ

・タイムスケジュール: 上野恭男作成

◇20周年記念誌編集委員会

・上野編集長より第3回編集会議(11/15)の報告

・第4回編集会議: 12月6日(木)15:00 桑野会長宅

◇他クラブのクリスマス例会参加者リスト(別紙参照)を作成

◇瀬戸山陰部編入撤回の説明会報告が上野ワイズより下
記の通りなされた

瀬戸山陰部編入撤回の説明会

日時: 2018年11月26日(月)18時30分

参加: 六甲部は15名出席、三宅敬瀬戸山陰部部長、
阪田悦規次期瀬戸山陰部部長

場所: YMCA会議室

まず、大田六甲部部長がこの度の瀬戸山陰部の編入について、合併に至らなかった不手際をお詫びしますとの挨拶があった。

続いて、三宅敬瀬戸山陰部部長より、合併した時の問題点として、部則の相違が問題である旨を指摘した結果、六甲部の部則を変更する提案が出され、検討委員会で審議した結果、大きな論議になり、六甲部に大変ご迷惑をかけたことをお詫びし、編入申し入れを撤回することになった。誠に申し訳ないと謝罪された。

続いて、杉本隆人直前部長より10月27日に開かれた、三宅部長、福永直前部長(瀬戸山陰部)、大田部長、杉本直前部長の経緯説明会の報告があった。

瀬戸山陰部部会が10月7日~8日(土・日)に開催されたが、終了後、臨時評議会を開催し、協議し、第2回検討委員会で部則変更での議論の紛糾を踏まえ、これ以上六甲部に迷惑をかけることは申し訳ないということで申し入れを撤回することを決議された。白紙撤回ではなく、編入申し出を

取り下げると言い方を変えた。次期部長からの提案もありがたく次期部長に引き継ぎたいと思います。

検討委員会の進め方についての反省点とて、最低限の部則変更であったが、温度差があり議論を過熱させてしまった。

今後の進め方については、検討委員会は一旦解散とする。瀬戸山陰部は、来期の部長を選出し運営する方針で進めていく。六甲部部則は変更の必要はない。

六甲部での説明会での対応策としては、六甲部三役会にて協議した上で、瀬戸山陰部から三宅部長にも列席してもらい、六甲部として今日の検討委員会を開催した。

柏原次期六甲部部長より、次期役員研修会が10月20・21日(土・日)に開催されたが、瀬戸山陰部編入が撤回となつたいきさつの説明が六甲部執行部から一切なく、会場で三宅部長とわずかな時間の話し合いをし、無事に説明をすることが出来た。連絡不足では済まされないが、今後の展望として、六甲部を元通り正常に戻し、かつ、瀬戸山陰部との絆を深める為にも来期の部会を瀬戸山陰部との合同部会として前向きに進みたい。との説明があった。 以上

文責 上野恭男

今後の予定

◇六甲部各クラブクリスマス祝会は12月例会案内参照ください

◇2019年YYフォーラム: 日時未定(分かり次第お知らせします)

◇留学生交流会: 2月上旬 芦屋市民センター

◇その他の行事は分かり次第順次お知らせします

YMCAニュース

◇街頭募金(国際協力募金)

日時: 2018年12月9日(日)14:00~16:00

場所: 神戸元町大丸百貨店前(北西入口集合・解散)

連絡先: 神戸YMCA国際・奉仕センター

◇神戸市民クリスマス

日時: 2018年12月14日(金)夕刻~

☆キャロリング 17:00~ 北野コース、元町コース

☆子どもプログラム 17:30~19:30

☆ほっとタイム 18:00~19:15

☆祈りと祝福のとき 19:30~20:30

会場: 日本聖公会神戸聖ミカエル教会

(兵庫県庁西隣)

◇ハンドベル「クリスマスコンサート」

神戸YMCAベルクワイヤー

日時: 2018年12月24日(日)14:30~

場所: 神戸芸術センター「芸術劇場」

神戸市中央区熊内橋通 7-1-13

費用: 1,800円(当日2,000円)※中学生以上

連絡先: 神戸YMCA 078-241-7201

編集後記: 12月とは思えない暖かな日が続きます。TVで桜の花の開花が紹介されていましたが、芦屋カンツリーゴルフ場では毎年秋に開花する1本の桜を見ることが出来ます。ハゼの独特な赤、楓の燃えるような赤、桜の葉の濃い赤、美しく紅葉した秋も次に訪れるときにはクリスマスシーズンにふさわしい冬景色が待っていることでしょう。楽しみです。 柏原佳子